

令和3年度 学校自己評価表（計画段階）

学校運営計画（4月）			評価（3月）		
学校運営方針	<b>柱1：授業・課外の充実と指導の徹底</b> ・TeachingからLearningへ、そのためのCoaching ・教務部(授業)と進路指導部(課外)の連携、科目選択の見直し ・一貫性、継続性の指導	<b>柱2：入学志願者の確保</b> ・教育活動の充実 ・広報活動の強化			
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
昨年度は、コロナウイルス感染拡大防止の対策に終始した1年であった。授業計画、学校行事等変更せざるを得なかったが「チーム魁誠」で乗り切ることができた。 今年度も、教育活動を止めることなく、総合学科の特長を生かせるカリキュラムマネジメントや「主体的・対話的で深い学び」の推進に努め、キャリア教育をより組織的に展開することで、生徒一人一人の自己実現の達成を目指す。	豊かな心や健やかな体の育成	時を守り、場を清め、礼を正す生徒を保護者とともに育てる 自己有用感やコミュニケーション力を高め、他者を思いやり良好な人間関係が築ける生徒を育てる			
	新しい学力観に立った学習指導の推進	確実な学び直しを土台として学力を伸長させる 「主体的・対話的で深い学び」の推進と観点別評価の充実			
	キャリア教育を活かした進路保障	総合学科としてのキャリア教育を全教職員が共通理解のもと実践する キャリア教育を反映した自己実現100%達成を目指す			
	地域に密着した学校づくりの推進	全職員で本校の特長を共有し、その良さを地域に発信していく 生徒が志を持ち、地域や社会に貢献できる力を養う			
	具体的目標	具体的方策	評価	現状での主な課題	
学事推進 (学事部)	教務課	基礎学力の定着 キャリア教育の視点に立った教育活動の充実	出席率98.5%以上、出席皆勤者280名以上を目標とし、達成に向けて継続的に努める。 生徒の現状の学力に相応した授業を展開し、基礎学力の向上を図るとともに単位未修得者0を目指す。 入学から卒業までの学校教育活動全体を見通した効果的なキャリア教育を確立させる。 総合学科としての本校の特色ある教育活動を活かし、生徒の希望進路100%実現を目指す。 生徒用学習パソコンや大型提示装置など、ICT機器の取り扱いに関する全職員の共通理解を図り、ICT活用の支援を行う。 共有サーバ内の電子データの管理を徹底し、ICTを利用しやすい環境を作る。		
	情報図書課	ICT活用の推進 図書館貸出数の増加	図書館における利用マナー及び方法を周知し、快適な図書館環境を作る。 掲示物の作成など、生徒図書委員会の活動を充実させ、図書館貸出数前年比10%増をめざす。 全職員のICT活用能力向上と「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる研修内容を充実させる。 授業アンケートを7月に実施し、結果を全教職員で共有し早期に授業改善及びICT活用推進を目指す。		
	研究研修課	「新たな学び」を目指した授業研究 校内研修の充実と研究授業実施及び参観の	本校の課題に対応する校内研修を実施し、校内で講師を務める教員の育成を図る。 授業公開週間で研究授業を複数実施・参観できるようにし、特に若手・中堅教員の授業改善を推進する。		
生徒育成 (生徒部)	生徒指導課	基本的な生活習慣の確立 安全教育の充実及び社会性の育成	制服を正しく着こなし、場に応じた清々しい挨拶をする習慣の徹底を図る。 安易な遅刻・欠席をなくすとともに、授業規律を確立する。 登下校指導・安全教育を通して、自ら安全確保に努め、交通マナーの向上を図る。 人間関係形成能力を高め、場に応じた態度や行動選択ができる生徒を育てる。		
	保健課	情報の共有化と健康相談活動の充実 学校安全と学校環境の整備	年次間での情報の共有を図り、生徒が抱える健康問題に応じて早期に適切な関係機関へ働き、個別の支援を図る。 スクールカウンセラーや学校医と密に連携を図り、専門的な情報提供の場を企画する。 緊急時の連絡体制の整備及び周知、流行する感染症に対する情報収集と予防啓発を行う。 担当清掃区域の指導、点検が確実にできるように、巡回担当の職員を配置する。		
進路探究 (進路部)	進路指導課	生徒の進路実現を果たすための取組の充実	模試の実施及び分析を通して、受験に対応できる学力の育成を図る。 進路探究ができるように、多様な進路先を考慮することができるガイダンスの実施を図る。 生徒が学びに向かう態度を身に付け、進学後もその学習態度を向上しようとする基礎的な能力を育てる。 総合選抜試験や推薦入試など、生徒の特性に即した方法を模索し、個別の対策から進学の可能性を高める。 教員一人一人が入試制度に関する見識を広げ、情報の充実を図る。		
	職業教育推進課	生徒の希望進路100%実現	生徒の実態に即した効果的なガイダンスを企画・実施する。 生徒自身の適性把握をサポートし、応募前職場見学を奨励することで就職後のミスマッチを防止する。 職業教育に関するスケジュールと内容を再検討する。		
教育企画 (教育企画部)	キャリア教育推進課	生徒の進路決定に資するキャリア教育の実践	1年次は「産業社会と人間」を通して、進路選択に必要な力を学びとらせる。 2年次は「総合的な探究の時間」を通して、将来設計に必要な情報を主体的に収集できる力を育成する。 3年次は「総合的な探究の時間」を通して、卒業後の社会や地域への関りを学ばせる。 キャリア教育で学んだことが生徒の進路実現に結び付くようにする。		
	庶務課	学校行事の円滑な実施 P T A および同窓会活動の充実	感染症対策に留意しながら他の分掌と協力して学校行事を企画運営する。 職員室内の各年次ボード周辺の整理を呼びかけ、職員室内の整頓のリーダーとなる。 P T A 各種委員会を確実に開催できるように早めに案内する。 同窓会の活動をサポートし、生徒の学校生活をより良いものにしていく。		
	広報課	広報活動の充実 中学生や保護者、地域への正しい情報発信	ホームページの運営を複数人で取り組み、月5回の更新を目指す。 生徒の課題研究活動を活かしたアピールをする。 学校紹介の内容を年4回見直し、本校の魅力が効果的に伝わるように工夫をする。 各教科の広報担当者と連携して、体験入学や出前授業の内容を充実させる。 5分前行動の徹底と、先を見据えた計画性・自己管理能力の育成を図る。		
年次・学級経営	1年次	基本的な生活習慣の確立 学校生活の目的の明確化と、規律の順守 学習習慣の定着と、幅広い進路選択のための個性の伸長	規律の順守とともに、学校生活の目的を理解させ、授業・行事等を通してリーダーシップ・協調性・創造性を養う。 予習・授業・復習のサイクルを定着させ、進路選択における個性の育成を図る。		
	2年次	社会人基礎的な生活習慣を確立 基礎学力の定着と2年後の進路を見据えた学力の向上	自主的に時間・健康管理を徹底し、先を見据えた行動を心掛ける。 日々の授業を大切に、スタディープログラムを活用して学習習慣の定着を図る。		
	3年次	希望進路の100%実現 学校生活の充実 自ら考え自らを律する態度の育成	ルールやマナーに対して仲間と指摘し合う雰囲気確立し、学校のミドルリーダーとしての責任を果たす。 一人ひとりの進路実現に向けた確かなアドバイス及び支援・応援・試験日程の管理を行う。 生徒との対話や行事を通して、生徒の自己肯定感を高め、生き生きとした学校生活を実現する。 生徒に問題点を指摘することによって、自ら考え自らを律する態度を養う。		
学校事務	教育環境の整備	予算を適切に配分執行して、学校教育を推進する環境作りに努める。			